強靭な都市基盤が支える東京の明るい未来

1．はじめに

気候危機や人口減少、資源・エネルギーを巡る環境の変化、そしてAIをはじめとする先端技術の急速な進展など、東京を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。東京は、こうした変化の波を知恵と工夫を凝らして力に変え、日本の成長を牽引していかなければなりません。

都は、「2050東京戦略～東京 もっとよくなる～」に基づき、すべての人が輝き、一人ひとりが幸せを実感できる「成長」と「成熟」が両立した「世界で一番の都市・東京」を目指し、様々な取組を進めています。

その中で欠かせないのが、将来を見据え、今後の都市づくりのあり方をしっかりと描くことです。

都市づくりは「国家百年の計」です。その土台となる道路、鉄道、河川、下水道、港湾などの都市基盤は、東京、そして日本の成長を生み出す未来への投資にほかなりません。

今から約100年前、第７代東京市長も務めた後藤新平による、関東大震災からの壮大な復興計画は、今なお東京の都市基盤に息づいています。まさに、先人の挑戦が、今日の東京を創り上げたのです。

そして、今の私たちが進める都市づくりこそが、次の世代へと受け継がれ、未来の東京を形づくっていきます。都は、2050年代の都市像とその実現に向けた方針などを示す「都市づくりのグランドデザイン」の改定を進め、東京を新たなステージへと導いてまいります。

2．首都防衛～強靭な東京へ～

都民の命と暮らし、そして東京の未来を守り抜く。都は、この「首都防衛」を都政の基軸に据え、災害に強い都市づくりを進めています。世界有数の大都市である東京には、いかなる危機に直面しても都市機能を維持し、日本の社会と経済を支え続ける責務があります。「備えよ、常に」の精神で、先手先手の対策を講じていかなければなりません。

近年、気候変動の影響により豪雨災害は激甚化・頻発化しています。都民の生命と財産を守るため、都では「豪雨対策基本方針」に基づき、総合的な治水対策に取り組んでいます。浸水被害の防止に向け、河道や地下調節池などの河川整備、幹線や貯留施設などの下水道整備、貯留浸透施設などの流域対策を進めています。あわせて、いざというときの備えとして、家づくり・まちづくり対策や避難方策を推進しています。

一方、首都直下地震への備えも喫緊の課題です。都は、「防災都市づくり推進計画」に基づき、延焼遮断帯の形成や木密地域の不燃化などを進め、「燃えない・燃え広がらない」まちの実現を目指します。

また、安全・安心な暮らしを守る無電柱化についても、「電柱を減らす」、「電柱を増やさない」の両面から進めています。宅地開発において電柱の新設を原則禁止とする条例を新たに制定し、本年10月末に施行しました。

災害は待ってくれません。将来起こり得る危機を見据え、100年先も安心して暮らせる、世界一レジリエントな都市・東京を築いてまいります。



東京都知事　小池（こいけ）　百合子（ゆりこ）

3．東京の成長を支えるインフラ投資

強靱化と並ぶもう一つの柱が、東京の未来を創る「成長への投資」です。

道路や鉄道などの交通ネットワークは、人やモノの移動を支えるだけではありません。都市の骨格を形づくり、人と地域をつなぎ、新たな交流や投資、イノベーションを生み出す、東京、そして我が国の成長の礎です。

例えば、羽田空港アクセス線は、都心や各方面から羽田空港への移動の利便性を向上させ、国内外の人の流れを更に円滑なものとします。世界と東京を、そして東京と日本各地をより近づける。交通ネットワークの充実は、国際競争力を高め、都市の新たな活力を生み出すことにつながります。

都市基盤を新たに整備するだけでなく、既存の社会資本を賢く使い、その価値を磨き上げていく視点も必要です。

その一つが「東京ストリート＋（プラス）」です。これまで車中心であった道路空間に「ゆとり」や「にぎわい」を加え、人が歩き、立ち止まり、憩い、交流する空間へと変えていく。人が主役のウォーカブルな東京を目指しています。

インフラの新たな価値を創出し、東京のポテンシャルを最大限に引き出していく。そして、東京から未来モデルを発信し、日本全体の成長をリードしてまいります。

4．おわりに

強靱な都市基盤を築き、未来へとつないでいく。その原動力となるのは「人」です。

国や自治体、民間企業、そして現場に立つ技術者など、多くの皆さまが、それぞれの立場で知恵と経験を持ち寄り、我が国の社会資本を支えています。

一方、担い手不足やインフラの老朽化など、社会資本を取り巻く課題は一層深刻になっています。

そこで大きな力となるのがAX（AIトランスフォーメーション）です。変化のスピードが加速する今日、AIやデジタル技術を活用しながら、「人」の手でしか生み出せない技術や価値を高めていくことが重要です。そのためにも、AXの推進による業務効率化を図るとともに、技術人材の確保・育成に向け、特に若い世代がインフラ分野への理解と関心を深められるよう、取組を強力に進めていかなければなりません。

東京は、幾多の困難を乗り越え、そのたびに都市をより強く、より豊かに進化させてきました。

これからも、東京の揺るぎない成長につながる更なる投資を行い、その活力を日本全体へ波及させるとともに、各都市と連携しながら、首都圏及び全国の競争力を一段と高めてまいります。

東京から、日本の未来を切り拓く。

皆さまとともに、「世界で一番の都市・東京」の実現に向け、力強く歩みを進めてまいります。